## ①地域の景観の特徴

※地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。

- ・家々の敷地には、庭木が植えられ、近隣の緑や遠くに見える山の緑とつながっています。こうした「つながる緑」が潤いある住環境を 生み出しています。
- ・それぞれの敷地は、低い生垣などの「ゆるやかな境界」でつながっています。
- 個々の家々は低層の勾配屋根で、「穏やかな屋根」と「落ち着いた色 合い」のまち並みが形成されています。また、家並みは、道路から 適度に後退し、「退いた壁」により、ゆとりある沿道空間が形成され ています。

## ②デザインのコンセプト

緑でゆるやかにつながりあい、勾配屋根の家々が連なる、落ち着いた 住宅地の景観をつくる。

## ③具体的なデザイン

- 建築物を道路から後退して配置し、周辺のまち並みと調和させます。
- ・屋根は周辺の家々と調和するよう、落ち着いた色彩の勾配屋根とします。
- 外壁の色彩は暖色系の低彩度色を用い、まち並みに調和させます。
- 外壁は色彩や素材により分節化し、周辺のスケール感に合わせます。
- ベランダの手すりは、室外機などが見えないように半透明のガラスとします。
- ・エントランスまわりの壁と床には、ジェットバーナー仕上げの石材 を用い、落ち着いた表情をつくります。
- 道路側に適度な間隔で木々を植え、駐車場の車や自転車置き場が見 え隠れするようにします。
- ・敷地内に花や実のなる木々を植え、季節の変化が感じられる豊かな 住環境をつくります。

※この添付資料は、豊橋市景観計画ガイドラインを参考にしながら、現地等の調査結果を踏まえて記入してください。②デザインのコンセプト以降は、現時点のイメージで構いません。 ※イメージスケッチや参考写真等がありましたら添付してください。